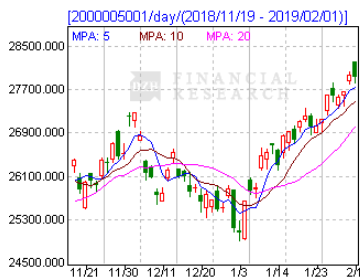


中国株ウィークリーレポート

2019/2/4

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	18年末株価
NYダウ	25,063.89	64.22	0.26	1.32	7.44	23,327.46
NASDAQ	7,263.87	-17.87	-0.25	1.38	9.47	6,635.28
日経225	20,788.39	14.90	0.07	0.07	3.87	20,014.77
上海総合	2,618.23	33.66	1.30	0.63	4.99	2,493.90
滬深300 (CSI300)	3,247.40	45.76	1.43	1.98	7.86	3,010.65
ハンセン	27,930.74	-11.73	-0.04	1.31	8.07	25,845.70
中国企業	11,063.94	28.21	0.26	1.75	9.28	10,124.75

【株式概況】

先週の動き: ハンセン指数は1.3%高と5週続伸、上海総合指数は0.6%高

香港市場ではハンセン指数が週間で1.3%高と5週続伸した。週前半は米中の重要イベントを前に小動きが続いたが、FOMCでパウエルFRB議長が当面の利上げ停止と資産縮小見直しの姿勢を示したことを好感。米中貿易協議の進展への期待が高まったことや中国の景気下支え策も支援材料となった。本土市場では上海総合指数が週間で0.6%高と5週続伸。週前半は景気減速懸念などを背景に軟調に推移したが、後半には今後の米中貿易交渉の進展に対する期待から持ち直す展開となった。

今週の展望: 香港市場は軟調な展開か、旧正月の連休入りで1日半の取引

香港市場は旧正月の連休入りで1日半の取引。旧正月の連休入りで本土発の材料が減り、閑散とした商いが予想される。ハンセン指数は年初からの上昇率が8%に達し、節目の28000ポイント目前の水準まで上昇していることから、利益確定売りも出やすくなっている。米中貿易摩擦を巡っては足元で楽観論が広がっているが、今後も状況は二転三転する可能性が高く、行き過ぎた楽観論の修正が入る可能性がある。一方、本土市場は旧正月の連休のため1週間休場。取引は11日に再開される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国生物製薬 (01177)	6.70	10.02
2 恒安国際集団 (01044)	62.45	7.95
3 碧桂園 (02007)	11.08	7.78
4 銀河娛樂 (00027)	55.10	7.51
5 恒隆地産 (00101)	17.44	7.13
6 申洲国際集団 (02313)	96.00	5.15
7 新世界發展 (00017)	12.42	4.72
8 中国平安保険 (02318)	76.70	4.50
9 石薬集団 (01093)	13.62	3.65
10 シバック (00386)	6.53	3.65

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国蒙牛乳業 (02319)	23.85	-5.54
2 長江和記実業 (00001)	79.20	-2.22
3 電能実業 (00006)	52.50	-2.14
4 吉利汽車 (00175)	13.20	-1.35
5 瑞声科技 (02018)	47.75	-1.34
6 信和置業 (00083)	13.92	-1.28
7 中国中信 (00267)	11.82	-1.17
8 中国人寿保険 (02628)	19.46	-1.12
9 中銀香港 (02388)	30.20	-0.98
10 長江ソフワ (01038)	63.25	-0.86

▼今週の主なイベント

- 2月4日(月)
- 【中国】旧正月で休場(8日まで)
- 【香港】旧正月で半日立ち会い
- 2月5日(火)
- 【香港】旧正月で休場(7日まで)

▼今週の期待材料

- ◆新華社が先週の米中閣僚級交渉で「重要で段階的な進展があった」と報道、米中合意に期待が高まる公算
- ◆中国の1月の製造業PMIが市場予想上回る49.5、前月より0.1ポイント改善で過度の警戒感が後退
- ◆中国が景気下支えに本腰、自動車消費の促進や家電製品の買い替え支援など内需拡大策を発表

▼今週の懸念材料

- ◆旧正月の連休入りで香港市場は1日半の取引、市場参加者が減ることで閑散とした商いになる公算
- ◆ハンセン指数は年初からの上昇率が8%に、週間でも5週続伸で利益確定売りが出やすい状況に
- ◆1日発表の1月の財新中国製造業PMIが48.3に低下、16年2月以来2年11カ月ぶりの低水準に

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 深セン高速道路 (00548) : 18年12月本決算は純利益が最大2.8倍の見通し
- ☆ テンセント (00700) : 約14%出資の猫眼娛樂が香港市場に新規上場
- ☆ 中国中煤能源 (01898) : 親会社から総額2400万円で炭鉱資産を買収
- ☆ アンドレ・ジュース (02218) : 18年12月本決算は40-70%増益の見通し
- ☆ 広州富力地産 (02777) : 1月の不動産販売額が6%増加、販売面積は15%増
- ★ 中航国際控股 (00161) : 18年12月本決算は減損計上などで赤字転落の見通し
- ★ 越秀交通基建 (01052) : 18年12月の通行料収入が9%減少、18年通期で9%減
- ★ 万科企業 (02202) : 1月の不動産販売額が28%減少、販売面積は29%減
- ★ 玖龍紙業 (02689) : 18年12月中間決算は原材料費の増加などで45%減益の見通し
- ★ 中国恒大集団 (03333) : 1月の不動産販売額が33%減少、販売面積は38%減

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。